



日本共産党 北区議会議員

野口まさと 区政レポート
のぐち将人

No.16 2016.12.14

発行：日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22
info@noguchi-masato.com
ご相談は
お気軽に 070-5658-0603

住民参加のまちづくりを 区議会第4定例会個人質問報告



区議会第4定例会で個人質問を行いました

区政レポート12号から15号までで、十条地域が進められているまちづくり計画概要をお知らせしました。立退きを伴うまちづくりは、ひとつだけでも大きな問題となりますが、これだけ同時並行的に開発が進められ

ている場所は全国を見渡してみても、ここ十条以外にはないのではないと思われま

す。私は、これまで十条地域で生活されていた方がこれまでどおり住み続けられるために、そして実際に住んでい

る住民の皆さまの意向がまちづくり計画に取り入れられることを求

めて、更に教育問題について11月25日に

道路3路線で400軒以上が立退きに

区は、これまで十条市計画道路により見込まれる立退き件数は、

十条まちづくりの4つの提案

私は、庶民のまち十

条を存続させるため、都と区が進めている十条まちづくりについて、

①鉄道立体交差については「地下化」とし、附属街路計画は白紙とするべきであること。

②補助85号線は、現在の都市計画幅員30mを、現道18mにあわせる都市計画変更を行うこと。

③補助73号線は、区内の他の特定整備路線とともに計画撤回をすること。

④西口再開発については、2/3の合意が取ればいいというのではなく、納得できない地権者を無理に計画に参加させることのないよう、8割9割が納得できる計画に見直すこと。以上4点をあらためて求めました。

学校諸問題について の改善要望

小中学校にかかわる問題では、児童数の増加と、放課後子ども総合プランの実施により、

余裕教室がなくなっていること。そのため特別教室が普通教室に転用されていますが、場所によっては教育環境に問題があるのではないかとと思われる教室もあること。そしてそれでも教室が不足する場合には、校庭にプレハブ教室を作ることになります。このことで校庭が狭くなる学校が増えていることを指摘し、適切な対応を求めました。

また、現在進められている適正配置計画に

についても、児童数の増加を踏まえ、学校数の現状維持も含めた議論を協議会で行うよう求めました。

新JIS規格の 机の導入を

学校で使う教科書・

ノートは、私たちが子供のころはB5サイズでしたが、昭和後期から徐々にA4サイズなど大き目のものへと変わってきています。このことにより、こどもたちの使うランドセルもA4サイズ対応へと大きくなってきています。そして同じ理由からだと思えますが、学校の机のJIS規格も、縦40cm×横60cmであったものが、平

保育園入所時の保育指数判定基準は改善の方向に

私は、2月に行われた第1定例会の個人質問で、保育園入園判定時の保育指数が、裁量労働制の方など、働き方によっては適切に算定されないことについての改善を求めました。

今第4定例会では、新年度の保育園入所の審査が行われるのに先駆け、わが会派の八巻直人議員が、代表質問において再度この問題を取り上げました。

その結果、これまでは週5日以上かつ1日8時間以上の勤務でなければ、保育指数の基礎点数上限10点となりませんでした。来年度は、

週40時間以上の勤務であれば10点となる改善が図られることになりました。



成11年に縦45cm×横65cmに改められています。現在、北区の小中学校では、すべて小さい旧JIS規格の机が使われています。子どもたちの学習環境改善のため、一回り大きい新JIS規格のものに入れ替えるよう求めました。



11月10日に十条まちづくりを考える学習交流会を開催しました。平日にもかかわらず多くの方が参加され、活発に意見の交流が行われました。